

事業計画

2019年度

社会福祉法人原町成年寮

2019年度 社会福祉法人原町成年寮 事業計画（案）

1 はじめに

法人の中長期計画である「第7次プロジェクト」の中間年にあたり、着実な計画を推進する。就労援助を中心とした地域生活の推進はもとより、プロジェクトにもある重度高齢化の対応は待ったなしの状況である。そのためのハード面の構築を模索する。また同時にその計画を推進するにあたり、人材の確保及び育成は当法人を問わず、大きな課題である。有効な手段を講じる。国を中心とした働き方改革は喫緊の課題であり、その対策は今後の法人活動に多大な影響があることを肝に銘じなければならない。

2 原町成年寮基本理念

① 就労・自立生活に向けた支援

原町成年寮は、一人ひとりの自立した社会生活を実現するため、多様な就労・日中活動支援を行っています。利用者の皆様が、社会の一員としての役割と責任を担いつつ、活躍し成長していただけるよう、日々支援しています。

② 豊かな人生をおくることへの支援

原町成年寮は、健康で安心・安全な生活を保障し、利用者の皆様が望む生活の実現をサポートしています。一人ひとりの個性を尊重し、日々の生活で豊かさを感じていただけるよう支援しています。

③ 地域社会への貢献をめざす支援

原町成年寮は、地域との交流や情報交換を行い、利用者の皆様が地域社会の一員として貢献できるよう支援しています。

3 法人計画

① 第7次プロジェクトの着実な実行

② 人材育成のため考課制度の充実

③ 各事業所における高齢化重度化の対応・対策

④ 働き方改革ならびにストレスチェック・健康診断の確実な実行

⑤ 等級制度に伴う人材成長育成研修及び必要な研修等の受講促進

4 各事業所事業計画（主要）

・葛飾通勤寮

- ① 自立の4つの柱（精神・生活・社会・就労）を基本としながら、自立に向けて支援する。
- ② 併設施設（Craft・奏かつしか）との密な連携で、行事の充実や防災対策をしていく。
- ③ 東堀切地区との連携また特別支援学校、児童養護施設などと連携をしながら、通勤寮運営に力を入れていく。

・奏かつしか

- ① 通勤寮連携型 GH「葛の葉」については、通勤寮と同等の支援をしっかりとした形で位置づけ、葛飾通勤寮と連携しながら利用者の自立、次の生活の場を見据えて支援する。
- ② 連携型 GH「葛の葉」からの受け入れ先として「ことの葉」を新規開設。利用者にとって充実した生活となるよう、精神面・生活面で落ち着けるような支援を目指す。
- ③ 通勤寮からの卒寮生を迎えられるよう、法人内 GH 事業所とも連携を図りながら、さらに新規 GH 開設ができるよう検討したい。

・Craft

- ① 利用者支援内容の充実と向上を図る。
- ② 生産活動に伴う工賃学向上に努める。
- ③ 関係機関との連携を取り一般企業就労支援の充実を図る。
- ④ 喫茶事業や施設祭等を通して、地域活動への積極的参加に努める。
- ⑤ 併設する葛飾通勤寮及びグループホームと連携し「自立と地域生活」を目標に必要な支援を行う。

・アンジュ

- ① 毎週金曜日に余暇活動を行うことで、満足感を高める。
- ② 土曜日又は祝日に通所日を設け、余暇活動の充実を図る。
- ③ 機能訓練等を日常的に行うことで機能維持に努め、継続した通所につなげる。

・シャングリラ

- ① きめ細かなアセスメントを行い支援する。
- ② 機能訓練の充実を図る。
- ③ 支援のために必要な知識・技術を獲得し現場力の向上を目指す。

・シャイン

- ① 健康と安全に配慮した活動の場を提供する。
- ② 奥戸福祉館と運営・活動等様々な場面で連携し改革していく。
- ③ グループホームへの配食を増やしていく。

・奥戸福祉館

- ① アンジュから引き継ぐ「ゆず屋」「タッセル」事業を軌道に乗せる。
 - ② 製パン事業は給食パン納品を中心に行い、販売活動は取捨選択する。
 - ③ 清掃洗濯事業は施設外就労の安定を図る。レンタルタオル事業を増加させる。
 - ④ 作業に乗りづらかった利用者の作業提供、環境整備を図る。
 - ⑤ シャインと協働し、あらゆる面での改革をしていく。
 - ⑥ 地域活動、社会参加を積極的に行っていく。
 - ⑦ 職員間の連携がとりやすく風通しのよい明るい雰囲気職場にしていく。
- ・フォレスト
 - ① グループワークによる、長期安定就労をめざした支援
 - ② 目標に向けた個別支援
 - ③ 外部講師との連携によるプログラム運営
 - ・シード
 - ① 社会性向上のための支援
 - ② セルフマネジメントのための支援
 - ・原町成年寮就労定着センター
 - ① 長期安定を目指した支援
 - ・ドロップ
 - ① ヘルパーの質を向上し、引継ぎミスを防ぐため、基本書面とメールで行う。
 - ② 在宅利用者のニーズに合わせた支援の充実を図り、居宅介護・行動援護の利用者については定期的にモニタリングを行い、支援計画を作成する。
 - ③ 必要に応じたグループホーム利用者の余暇支援の連携を図り、利用希望に沿った移動支援の予定を立てる。
 - ・はんもっく
 - ① 利用者ニーズに合わせた支援の充実を図り、定期的なモニタリングをして支援計画を作成する。
 - ② 定期的な巡回訪問や随時の対応により、必要な援助を行う。おおむね週一回以上利用者宅を訪問する。
 - ③ 区市町村、障害福祉サービス事業者等と連携を図り、サービスの提供や開発に努め、地域生活支援員の質の向上を図る。
 - ・糸でんわ
 - ① 指定特定相談支援
福祉サービスの関係事業所や実施機関との連携を図り、利用者や家族のニーズに寄り添ったサービス等利用計画・モニタリングの作成を心掛ける。
 - ② 指定一般相談支援
今年度は、地域移行・地域定着の支援が行えるよう調整していく。

- ③ 社会福祉士実習受け入れ窓口及び法人内見学対応窓口
社会福祉士実習の受入れ及び対応と対外的な法人内事業所見学の受入れ及び対応を含め丁寧な調整を心掛ける。
- 原町成年寮かつしかセンター
 - ① 職員のスキルアップを図る。
 - ② 利用者のライフステージに合わせた計画的な支援をする。
 - ③ 利用者の余暇充実を図る。
- サザンクロスかつしか
 - ① 幸せの形は十人十色。個人としっかり向き合い、未来につながる支援をします。
 - ② ライフステージに合わせた支援を提供します。
 - ③ 利用者も職員も人生を謳歌し、幸せになります。